平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	333		
会計	一般会計				
事業区分	経常	実施区分	継続		
開始	S47	終了			

事務事業名	文化会館等管理運営事業			
担当課等名	文化会館			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			飯田文化会館条例

事業目的	対象	市民
	意図	文化会館、人形劇場を安定的に安全・快適な環境で利用できるようにする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	飯田市公共施設マネジメントの基本的な考え方に基づき、施設の整備方針をふまえ計画的な改修を進めます。 日常的な維持管理、定期点検を実施し、安全・安心・快適に施設を利用できるようにします。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・文化会館を安全、安心、快適に利用できるよう日常的な維持管理、点検を実施します。 ・文化会館、人形劇場、市公民館、鼎公民館の４つのホールを適切に利用できるようホール業務を専門家に委託します。	文化会館維持管理費	46,408
	ホール業務等委託費	26,221
	施設・設備修繕費	2,403
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
クレーム・要望件数	件	6			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	75,032
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	21,612
一般財源	53,420

特定財源内訳及び補足事項

（そ）文化会館使用料　20,100千円
（そ）公共物占用料　1千円
（そ）諸収入　1,511千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	10	1	46,408 / 0	文化会館管理費
2	1	10	5	7	10	2	26,221 / 0	ホール業務等委託事業費
3	1	10	5	7	10	3	2,403 / 0	文化会館施設整備事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 333　事業名 文化会館等管理運営事業　　文化会館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系廃棄物及び産業廃棄物の排出（マニュフェストの保管、交付状況報告）	○	○
施設管理事務	○			×	－	××	－	×	－	○				
グリーンカーテンの設置	○			－	－	○	－	○	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示（60cm×60cm）及び保管場所における廃棄物の適正な管理	○	○
施設整備・保守点検		○		×	×	×	－	×	－		フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	簡易点検（四半期1回以上）、定期点検（3年に1回）、漏えい時の修理、点検・修理・回収の履歴記録と記録保存	○	○
地震による灯油の流出			○	×	－	－	－	－	×		フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	廃棄時におけるフロン類の行程管理のための書類の交付	－	－
											特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機の排出抑制と適切な廃棄	－	－
											消防法	防火管理者の選任	○	○
											消防法	消防用設備の点検（年1回）及び結果報告	－	○
											消防法	避難訓練計画の届出及び訓練の実施（年1回）	－	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果	年間評価 達成状況
	ホール、人形劇場、会館棟冷暖房機器の使用 年間を通じて 都市ガスの使用量を前年度の98％に抑制する	毎月の使用量、利用回数、平均気温を把握して、前年、前年の利用状況と比較して、使用量を確認していく。	・4～9月都市ガス使用量 H28　7,441㎥ H29　10,169㎥ 対前年度比136.6％ ・4～9月施設使用回数 H28　4,534回 H29　4,422回 対前年度比97.5％ ・4～9月平均気温 H28　4月13.5℃　5月18.3℃ 6月20.6℃ 7月24.7℃ 8月25.6℃ 9月22.5℃ H29　4月11.3　5月17.6℃ 6月19.8℃ 7月25.6℃ 8月25.4℃ 9月20.2℃ 春先～5月にかけて前年より気温が低く暖房使用が増えてしまった。また、夏場は前年同様猛暑が続いたこと、興業目的の施設使用が増えたことで冷房使用が増加してしまった。			
	グリーンカーテンを 夏季に設置し 利用者の環境意識を啓発する	事務室北の庭にアサガオを植栽する。	適正な育成管理により室温低下に一定の効果を得た。			

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	334		
会計	一般会計				
事務事業名	文化会館文化芸術事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	文化会館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市教育振興基本計画
				飯田市文化芸術振興基本方針
	法令・例規等			文化芸術振興基本法
				音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律

事業目的		
	対象	市民、文化芸術の普及・振興を担う人材
	意図	文化芸術の振興を図ることによって、市民が心豊かな生活を送るための一助とする

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	本市の文化芸術は、市民と行政の協働によって成り立っています。市民が活き活きと活動できる環境を整えることによって、より多くの市民が文化芸術に親しみを持ち、主体的に参加することによって、文化芸術による創造的な地域の活性化(文化力の向上)を目指すとともに、普段の生活に潤いをあたえ、心豊かな市民生活をおくるための一助となるよう、多様な文化芸術に接する機会を創出していく必要があります。

29年度取組

取組内容

・オーケストラと友に音楽祭では、財政的な見直しをおこない、市民が音楽に親しむ機会を継続できるようにします。
・伊那谷文化芸術祭では飯田文化協会と共催して、市民が主体的に取り組む活動を支援していきます。
・市民舞台芸術創造支援事業では、参加者を広く公募するとともに、伊那谷文化芸術祭への参加団体増加と質的向上を目指していきます。
・舞台芸術鑑賞事業では、予算的に大規模な鑑賞事業を行うことができないが、単に鑑賞するだけでなく、地域の文化資源(地芝居等)にも焦点を当てて関心を高め、保護、継承へ繋げていきます。

経費の内容	事業費(千円)
オーケストラと友に音楽祭開催事業	11,000
伊那谷文化芸術祭共催事業	0
市民舞台芸術創造支援事業	970
舞台芸術鑑賞事業	4,148
その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
オーケストラと友に音楽祭参加者数	人	5,200			
伊那谷文化芸術祭参加者数(出演・鑑賞)	人	8,000			
舞台芸術創造支援事業参加団体学校数	団体・校	70			
舞台芸術鑑賞事業事業数	事業	4			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費 計	16,118	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	16,118	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	11	3	4,148 / 0	舞台芸術鑑賞事業費
2	1	10	5	7	11	5	970 / 0	市民舞台芸術創造支援事業費
3	1	10	5	7	11	7	11,000 / 0	オーケストラと友に音楽祭開催事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 334　事業名 文化会館文化芸術事業　　文化会館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	使い捨て容器の不使用を 伊那谷文化芸術祭などで実施し エコ活動をＰＲする	使い捨て容器不使用について、実行委員会等で呼びかけと確認を行う。	伊那谷文化芸術祭の打ち合わせにおいて部会担当者の昼食時の食器、湯茶容器の使い捨て容器不使用を計画した。			

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	335		
事務事業名	人形劇のまちづくり事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	文化会館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
			飯田市文化芸術振興基本方針	
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営をおこない、人形劇を通して文化芸術を楽しみます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	人形劇フェスタでは、参加証ワッペンの販売数が減少しています。市内外への広報宣伝の方法について、検討し対策を講じる必要があります。また、人形劇フェスタ開催期間以外でも年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験できるようにする機会を増やし、多くの市民に参加してもらう必要があります。

29年度取組

取組内容

・「人形劇フェスタ」だけでなく「人形劇の定期公演」「人形劇の巡回公演」などを通して市民の方々に人形美術の素晴らしさを理解してもらえるようにします。
・単に鑑賞するだけだはなく、「人形劇フェスタ」や「人形劇の創造事業」等に参加することで、フェスタ運営や演じることの楽しさを知ってもらえるよう支援します。
・伊那谷の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために後継者育成や、保存会の支援を行います。
・平成30年に行われる世界人形劇フェスティバル、AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会、全国高等学校総合文化祭人形劇部門の開催準備を進めるとともに、国内外に情報を発信します。

経費の内容	事業費(千円)
「人形劇のまち飯田運営協議会」活動支援他	661
「いいだ人形劇センター」活動支援負担金	11,000
人形劇図書資料の調査活用事業委託料	2,534
いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金	35,000
人形劇公演事業負担金	3,823
人形劇創造支援事業費	12,430
人形劇のまち国際化推進事業費	3,800
伝統人形芝居振興補助金・施設管理委託料他	2,150
伊那人形芝居保存協議会負担金	500
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ワッペンの販売数	枚	12,500			
フェスタ期間中の観劇者数	人	40,000			
フェスタ以外の人形劇公演観劇者数	人	11,800			
人形劇創造活動への参加者数	人	900			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	71,898	(国)文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業（文化芸術創造拠点形成事業）（1／2）
国庫支出金	23,000	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	48,898	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	14,195 / 0	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	35,000 / 0	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	3,823 / 0	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	12,430 / 0	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	3,800 / 0	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	2,650 / 0	伝統人形芝居振興事業費
7								

(環境ISO管理)

事業No. 335　事業名 人形劇のまちづくり事業　　文化会館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		消防法	防火管理者の選任（今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館）年度当初確認	○	○
いいだ人形劇フェスタ開催事業におけるエコ活動	○			－	○	－	－	－	－		消防法	消防用設備の点検（1回／年）及び結果報告（今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館）	－	○
建物火災（今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館）			○	×	×	－	－	－	－		消防法	避難訓練計画の届出及び訓練の実施（今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館）	－	○
地震による建物倒壊（今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館）			○	－	×	－	－	－	－		特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	廃棄時の適正な処置	－	－

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	ゴミの持ち帰りの徹底を いいだ人形劇フェスタの上演会場等で 実施する	いいだ人形劇フェスタの本部講演において、会場のゴミの持ち帰りや指定場所以外での禁煙等の徹底について観客に周知する。	いいだ人形劇フェスタの本部講演において、会場のゴミの持ち帰りや指定場所以外での禁煙等について守られた。			
	使い捨て容器の不使用を いいだ人形劇フェスタの際に 実施する	いいだ人形劇フェスタのスタッフ等の食事の際に、できるだけ使い捨て容器を使用しないように周知する。	おにぎりを会場ごとのケースで配達することで使い捨て容器の削減ができた。			

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	336		
事務事業名	竹田人形館管理運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	文化会館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針	
	法令・例規等	○	竹田扇之助記念国際糸操り人形館設置条例	

事業目的		
	対象	市民
	意図	①人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。②人形劇のまちへの理解を深める。③施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	糸操り人形の人形美術の素晴らしさや操る楽しさを伝え、リピーターを増やす必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・展示替え、企画展の実施や定期的な糸操りの上演、体験を通して、リピーターを増やします。 ・一度も訪れたことのない市民の方々などの新たなお客に人形館のことを知ってもらえるよう、広報宣伝を行います。	職員賃金	3,581
		人形館維持管理費用	5,412
		企画展、展示替えに関する費用	321
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	①竹田人形館の年間入館者数	人	3,600			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	9,314	(そ) 竹田人形館観覧料　880千円
	国庫支出金	0	(そ) 諸収入　25千円
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	905	
	一般財源	8,409	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	2	9,314 / 0	竹田人形館管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 336　事業名 竹田人形館管理運営事業　　文化会館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示（年度当初確認）	○	○
建物火災			○	×	×	－	－	－	－					
地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の適正な管理（毎月確認）	○	○
											消防法	防火管理者の選任（年度当初確認）	○	○
											消防法	消防用設備の点検（1回/年）及び結果報告	－	○
											消防法	避難訓練計画の届出及び訓練の実施	－	○
											特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	廃棄時の適正な処置	－	－
											フロン排出抑制法	簡易点検の実施（四半期に1回以上）	○	○
											特定製品にかかるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	廃棄時の適正な処置	－	－

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	337		
事務事業名	川本人形美術館管理運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	文化会館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針	
	法令・例規等	○	飯田市地域人形劇センター条例	

事業目的		
	対象	市民
	意図	①人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。②人形劇のまちへの理解を深める③施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	川本人形美術館開館10年を迎えるに当たり、人形展示や補修の在り方について研究する時期に来ています。指定管理者及び川本プロダクションと連絡を取り合い、より良い展示となるよう研究を進めます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・指定管理者による適切な管理運営が行われるよう、指定管理者の指導監督に努めます。 ・修理が必要な人形について、川本プロダクション、指定管理者と連携して適切に補修を行います。 ・開館10周年記念行事等を指定管理者と行うことで、入館者の増に取組みます。	施設管理業務委託料	21,000
		人形補修業務委託料	2,231
		共用部管理負担金ほか	6,834
		開館10周年記念行事実施業務委託料	600
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	川本喜八郎人形美術館の年間入館者数	人	29,500			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	30,665	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	30,665	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	9	30,665 / 0	地域人形劇センター管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 337　事業名 川本人形美術館管理運営事業　　文化会館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示（年度当初確認）	○	○
建物火災			○	×	×	－	－	－	－					
地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の適正な管理（毎月確認）	○	○
											消防法	防火管理者の選任（年度当初確認）	○	○
											消防法	消防用設備の点検（1回/年）及び結果報告	－	○
											消防法	避難訓練計画の届出及び訓練の実施	－	○
											特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	廃棄時の適正な処置	－	－
											フロン排出抑制法	簡易点検の実施（四半期に1回以上）	○	○
											特定機器にかかるフロン類の回収及び破壊の実施	廃棄時の適正な処置	－	－

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況